

ブルキナファソにおける 暴力的過激主義の予防と コミュニティの復興強化



日本補正予算：2020年3月～2021年3月

予算：100万米ドル

主なパートナー：青少年・若者起業促進省および女性・国民連帯・家族・人道支援省

目的

このプロジェクトは、若者と女性に所得機会を提供し、包括的なコミュニティ支援体制を促進することにより、紛争と治安悪化のリスクを抱える対象区域の安定とコミュニティの復興に貢献することを目的とします。

プロジェクトは、主にリスクを抱える若者や、国内避難民(IDP)を対象に職業訓練を行います。また同時に復旧・復興事業に一時的に雇用し、賃金を支払うことで、生計を支える機会を得られるようにします。

プロジェクトの成果

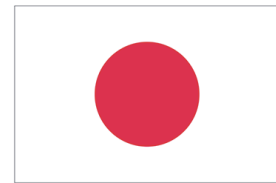
成果1：リスクを抱えた若者、国内避難民、帰還民 1,000 人(男女計)以上に、代替的な生計手段への支援と職業訓練を提供すること

成果2：400 人の女性と 20 の女性団体の復興支援を実施し、その所得を多様化、改善すること

成果3：治安部隊と行政に対する国民の信頼を高め、現地の紛争予防・解決メカニズムを強化すること

SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標1、8、9、11、16および17に貢献します。



From
the People of Japan

開発課題

サヘル地域の他の国々と同様、ブルキナファソは、特にマリとニジェールの国境地帯（西部から北東部にかけて）における治安の悪化をはじめ、多角的な危機を抱えています。同国の北部では、テロリストや非国家武装集団による攻撃が定期的に起き、人々とコミュニティの暮らしや基礎インフラ、地域経済の基盤が破壊されているほか、多くの民間人と軍人の死者や、大規模な国内避難（国内避難民は56万人）が生じています。このように情勢の悪化が続いていることで、未曾有の人道問題も生まれました。また、若年失業率が高いことから、特に陸上攻撃で被害を受けている地域では、若者が暴力的過激主義に加担したり、関与したりする恐れも高まっています。